

令和元年度
東北農業試験研究推進会議 作物生産推進部
会 畑作物栽培研究会（夏期）開催要領

東北農業試験研究推進会議 作物生産推進部会
農研機構東北農業研究センター
水田作研究領域長（部会長） 石井卓朗
畑作園芸研究領域長（副部会長） 若生忠幸

1. 趣 旨

急速な担い手不足により水田・畑ともに耕作放棄地の拡大が問題になっており、集落営農方式への転換が迫られている。また、機械装備を備えた営農組織による作付拡大や生産費縮減のための農業機械稼働効率の向上が求められている。そこで、新たな技術や品目の導入による大規模な輪作体系の確立について意見交換と現地検討会を通じて、研究成果を共有し、畑作物の高位安定生産技術について検討を行う。

2. 開催日時

令和元年8月21日（水）13:15～8月22日（木）12:45

3. 開催場所

- 1) 研究会 コラッセふくしま（福島市三河南町）
- 2) 現地検討会 福島県浜通り地区大規模集落営農圃場
 - (1) 有限会社 高ライスセンター（南相馬市原町区）
 - ・ブロックローテーションによる水稲・小麦・大豆の2年3作体系の確立
 - ・複数機械による連続作業とICTの活用による作業の効率化
 - (2) 有限会社 恵みのファーム（相馬郡新地町）
 - ・子実用トウモロコシを導入した輪作体系の実証圃場（H30～「先端プロ 水田耕畜連携」）

4. 内 容

- 1) 研究会「畑作物導入による大規模水田輪作体系の展開」 8月21日（13:15～17:00）
 - (1) 東北農政局による情勢報告
 - (2) 講演「小麦・大豆の輪作体系と6次産業化の取り組み」
有限会社高ライスセンター代表取締役 佐々木 教喜
 - (3) 畑作物生育状況および試験概要報告（各県・農研機構東北農研）
 - (4) 意見交換
- 2) 現地検討会 8月22日（8:10～12:45）
（集合8:00 JR福島駅西口、解散12:45 JR原ノ町駅前）

5. 参集範囲

国立研究開発法人および公設試験研究機関、東北農政局、県行政・普及部局、大学、その他運営責任者が必要と認める者

6. 連絡先

農研機構東北農業研究センター（大仙研究拠点）水田作研究領域
上級研究員 島村聡（〒019-2112 秋田県大仙市刈和野字上ノ台297）
Tel: 0187-75-1084 Fax: 0187-75-1170 E-mail: shimamu@affrc.go.jp
福島県農業総合センター作物園芸部畑作科
畑作科長 丹治克男（〒963-0531 福島県郡山市日和田町高倉字下中道116）
Tel: 024-958-1723 Fax: 024-958-1728 E-mail: tanji_katsuo_01@pref.fukushima.lg.jp

（研究会の運営、資料提出等の詳細については、別途事務連絡します。）